パブリックコメント募集

学校法人京都外国語大学は、学園創立 80 周年を機に、100 周年を見据えた「KUFS VISION 2027」を策定しています。ビジョンの本文と実行計画（アクションプラン）を公開していますので、学生・生徒・保証人・卒業生・教職員の皆様のご意見をお寄せください。

KUFS VISION 2027 ―80 周年を、100 周年への出発点として―

少子化・AI の進展・生涯学習需要という三つの構造変化が重なる今、KUFS は縮小均衡にとどまることなく、新しい外国語大学モデルを切り拓きます。本ビジョンは、自ら変革を推進する大学へと生まれ変わるための羅針盤です。

1. ミッション（使命）

本学は、言語を核とした多文化理解と価値創造を通じて、人と社会の新しいつながりと相互の理解を生み出せる人材を育成します。

育てる人材――三つの力

- **読み解く力……**多様な価値観・文化・社会課題を、言語による質的理解とデータに基づく分析の両面から読み解き、本質を見抜く
- **つながる力……**言語と文化を深く学び、異なる人・社会・世界と対話し、相互の理解を築く
- **創り出す力……**対話と理解を起点に、新たな価値とつながりを生み出す

2. 戦略と重点施策

既存の強みを徹底的に深耕しながら、その土台の上に新しい価値を積み上げる「両手遣い」の姿勢を経営戦略の基本とします。語学教育と AI 活用の深化、留学生の受け入れ拡大、卒業生 5 万人との再接続とリカレント教育、大学院の再建などにより既存の強みを伸ばす一方、教育改革や日本語・日本文化教育の拡充など新たな挑戦にも取り組みます。

3. キャンパス整備

安心・安全と教育機能を高める中期キャンパス整備マスタープランを策定し、創立 90 周年（2037 年度）を目途にキャンパス整備を完了させます。策定にあたっては学内説明会を開き、学生・教職員の意見をプランに反映します。

4. 将来に向けた展望――100 周年を見据えて

「外国語を学ぶ大学」から「外国語を通して世界とつながり、社会に価値を創る大学」への再定義を目指し、大学院の研究拠点化、卒業生エコシステムの確立、通信制・オンライン教育の展開を進めます。

結語

80 年の歴史で培ってきた語学教育の蓄積と、多文化が交差するキャンパスという唯一無二の資産を礎に、KUFS は変化する社会の要請に正面から応える大学へと生まれ変わります。80 周年を、100 周年への出発点として。

学校法人京都外国語大学　理事長　/　京都外国語大学・京都外国語短期大学　学長　　北　寿郎

ビジョン本文・実行計画（アクションプラン）は**コチラ**からご確認ください。

パブリックコメントは**コチラ**から
募集期間　**2026 年 10 月 20 日まで**